

SoftMix



MF3.48 と Satellite のための ミキシング / オートメーション / プラグイン



SoftMix

Fairlight の Satellite と MF3.48 システムは今日市場でまわっている中で最もパワフルな一体型レコーディング / エディティングシステムです。SoftMix は QDC エンジンのパワーを開放しこれらのマシンをパワフルなトラックベースのダイナミクスとイコライゼーションと Fairlight の PlugIns Manager 5 のサポートをそなえ総合的なダイナミックオートメーションの完全に熟成したサラウンド対応のミキシングシステムに移します。たいていの場合、SoftMix は別のミキサーと一緒に使う必要をなくしていますが、別のミキサーがすでに導入されているところでは、SoftMix はプラグインによってサブミキシング機能で驚くほどに作業環境のスピードアップと柔軟性を増すことができます。

システムのミキシングをしようとしていたりプロジェクトを完了しようとしている場合、SoftMix は PC ベースのパッケージを簡単に使うのに必要な全てのパワーを提供し、オプションのハードウェアフェーダーとメータリングで映像を完成させることができます。

SoftMix システムは SoftMix、SoftMix プラグイン、SoftMix オートメーションの 3 つのモジュールに分かれています。

SoftMix はコアパッケージで、Windows 2000 または XP の標準の PC 上で動作します。SoftMix は MF3.48 または Satellite で 24 トラックまたは 48 トラック仕様で提供されます。

- ・ 24 トラック SoftMix : 32 チャンネル (24 トラックと 8 つの完全仕様 “ Live Feeds ”) / 16 ミックスバス
- ・ 48 トラック SoftMix : 56 チャンネル (48 トラックと 8 つの完全仕様 “ Live Feeds ”) / 24 ミックスバス

SoftMix PI は各チャンネルにオンボードのダイナミクスと EQ を追加し、Fairlight の PlugIns Manager 5 システムをサポートし、サードパーティのプラグインをオンラインにします。SoftMix Automation はパラメータのダイナミックオートメーションを可能にします。どちらのパッケージもいつでも SoftMix に加えることができます。

全てのミキシングとオンボードプラグインは QDC の 40 ビット浮動小数点 DSP 設計内で実行され、DREAM Console と Station システムと同じアルゴリズムを使います。その結果、まったく素晴らしいサウンドとなります。期待通りに、プラグインデータを含む全てのデータが他の DREAM 製品全てと互換性を持ちます。SoftMix システムは DREAM 製品群のそれぞれと完全なパートナーです。

SoftMix Channel

SoftMix は完全仕様のプロ用ミキシングシステムです。各 SoftMix チャンネルには次のような機能があります。



- ・トラックアーム：入力パッチされたトラックは SoftMix 画面から直接アームすることができます。

- ・トリムとの入力パッチ：どの入力でも任意のチャンネルにパッチすることができます。

- ・インサージョン：センド/リターンをシステム内の任意の I/O に自由にパッチできます。

- ・ダイレクトアウトプット：ゲインコントロールとオン/オフスイッチをもった切り替え可能なプリ / ポストフェーダー。ダイレクトアウトプットは各チャンネルから物理的な出力へのパッチ可能なパスを提供します。

- ・4つのオグジュアリーセンド：モノまたはステレオにして、各オグジュアリーにはマスター出力レベルコントロールがあり、他の任意のトラック、チャンネルまたは出力、あるいはこれらの任意の組み合わせにパッチすることができます。オグジュアリーセンドはプリ/ポストフェーダーが可能で、オン/オフスイッチがあります。

- ・別々のブームコントロールをもった最大5通りのパンニングがあります。ブームコントロール、プリ/ポストフェーダー切り替え可能な完全な 5.1 パンニングシステム

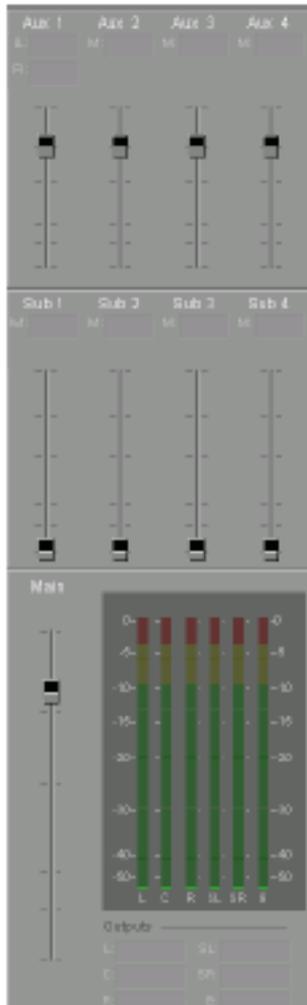
- ・SOLO DEFEAT ファンクションをもったソロ/ミュートコントロール

- ・バスルーティングスイッチ

SoftMixの全てのコントロールはアクティブなときにははっきりと文字が読めるようになっており、高速で正確な調整を助けてくれます。スペシャルファンクションは1回のマウスクリックで特定の値(ユニティゲインのような)を設定するようコントロール可能です。

SOFTMIX BUSSES

SoftMix には 3 タイプの Bus があります。



Aux busses (x 4)

オグジュアリーバスはモノかステレオにすることができます。

Aux Bus 出力は物理出力、ディスクレコーダートラック入力、ライブフィード入力などにいくつでも同時にパッチすることができます。

Sub busses (x 4)

サブバスはモノ、ステレオ、LCRS, 5、5.1 にすることができます。

サブバス出力は物理出力、ディスクレコーダートラック入力、ライブフィード入力などにいくつでも同時にパッチすることができます。

バスを複数の行き先に送るのはリストを選ぶくらい簡単なことです！

Main buss (x 1)

メインバスはモノ、ステレオ、LCRS, 5、5.1 にすることができます。

出力先はサブバスのもと同じです。バスマーターにはデジタル形式のピークホールド機能があります。

必要なタイプ、必要なフォーマットのバスの数を決めます。バスエレメントが作成されると各バスが消費されます。このように、ステレオバスは2つのバスエレメントが費やされ、5.1バスは6エレメント費やされます。エレメントはバスが作成されるとバスエレメントのプールを持ち出します。

LINK GROUP



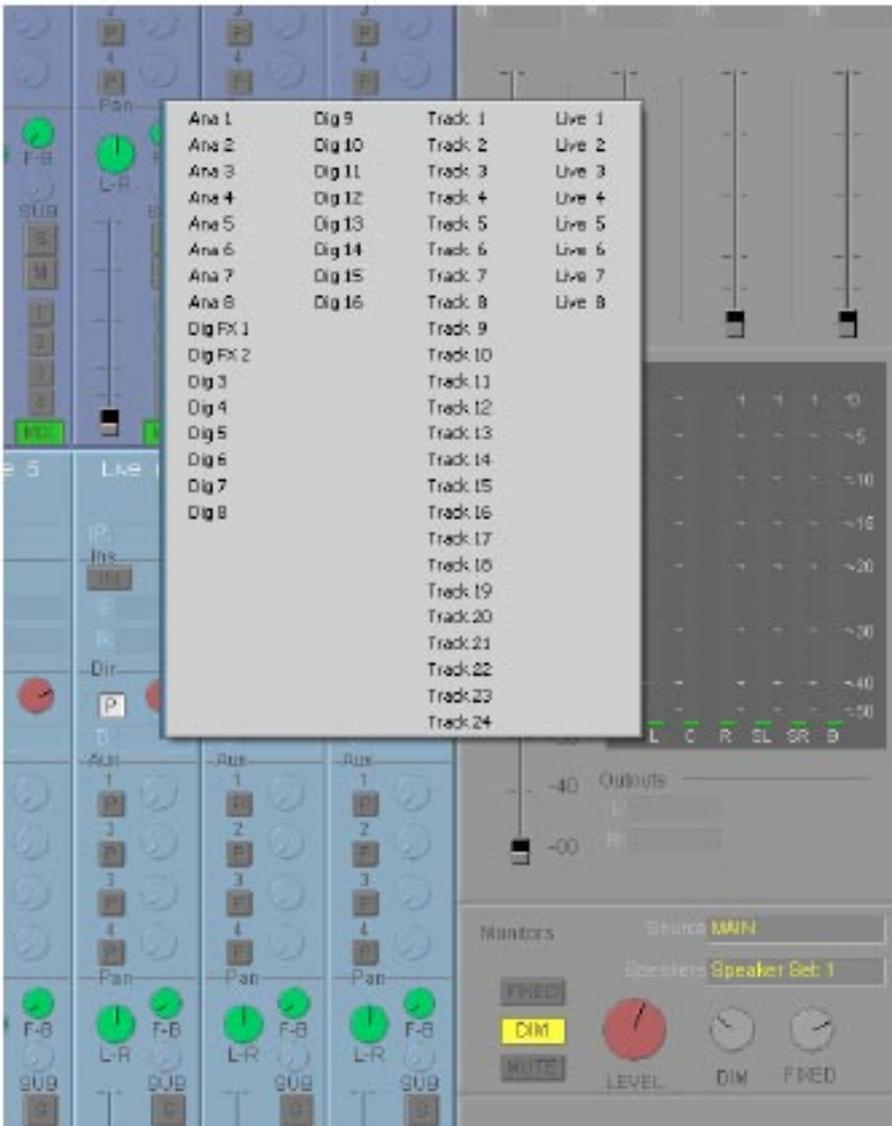
リンクグループはステレオの概念を5.1ワイドまでの任意のフォーマットに拡張して、複数のリンクされたチャンネルをそれらが1つのチャンネルであるかのようにコントロールすることができます。リンクされたチャンネルは自動的にリンクフォーマットに対応したパンニングを行い、ダイナミクスセクション (SoftMix PIで利用可能) は完全にグループにわたってリンクされます。

MONITORING



SoftMixには洗練されたモニターサブミキサーがあり、内部バスまたは最大4つのユーザー定義外部ソースをモニターすることができます。別の4つまでのスピーカーセットとフォーマットを動作させるとニアフィールドとオルタネートスピーカーセットの間の切り替えは直接即座に行え、互換性モニタリングに不可欠です。たとえば、ステレオスピーカーでの5.1ミックスなど、モニターマトリクスは自動で任意のフォーマットから別のフォーマットへフォルドアップ/フォルドダウンを実行し、簡単なモニタリングが可能となります。オプションのAO1Mモニターボードを取り付けると、誤動作の場合には安全装置ソフトウェア監視システムが自動的にスピーカーをエンジンから切り離します。

INPUT AND OUTPUT

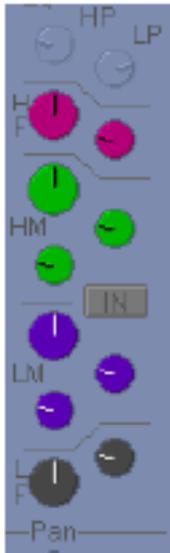


SoftMixは全てエンジンをとりつけたI/Oを使用しており、最大48のアナログ入力と48のデジタル入力が可能です。SoftMixには完全な入力/出力パッチング/ルーティングシステムがあり、全てのI/Oを必要に応じて自由にアサインすることができます。入力と出力は利用に反映するように名前をつけることができます。

SoftMix PI

SoftMix PIはSoftMixにプラグインサポートを加えます。パッケージには各トラックとライブフィードのためのリアルタイム6バンドEQと2ステージダイナミクスセクションがあります。またSoftMix PIはFairlightのPlug-Ins Manager 5システム（別途購入できます。該当文献をご参照ください）をサポートしており、フルセットのオーディオエフェクトプロセッサを入手できます。システムの各プラグインはオーディオクオリティを最大限に引き出します。

EQUALISATION



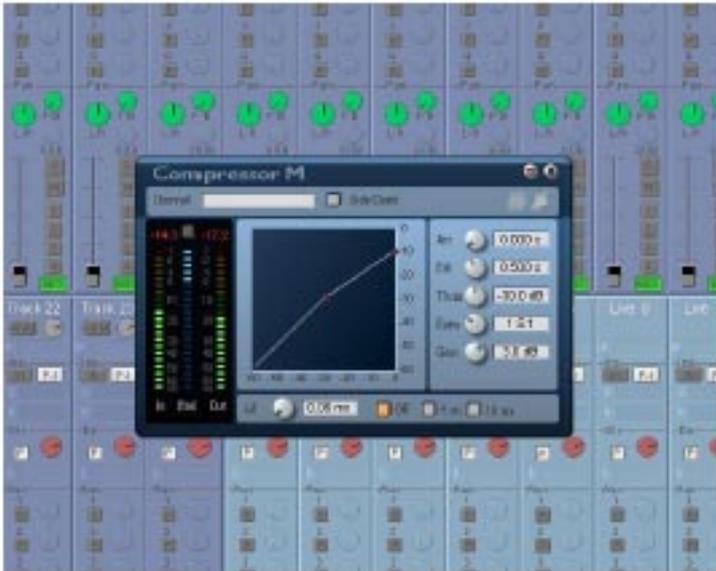
SoftMix PIはシステム内の各チャンネルに同時にフルバンドのイコライゼーションを加えます。制限はありません。全てのイコライザーが実際にいつでも回路内にあるので、取り入れる際の遅れは生じません。フェーズや不調和もありません。完璧な4バンドのパラメトリックEQで、ロウパスやハイパスフィルターがついています。

DYNAMICS



SoftMix PIのダイナミクスセクションには2くりのプロセッシングがあります。1つはコンプレッサーです。もう1つは必要に応じてリミッター、エキスパンダー、ゲートとして設定することができます。アタック、リリースタイム、ゲイン構成を完全コントロールして、最も要求される素材にしているためのパワーを十分にもっています。

PLUGINS MANAGER 5



PlugIns Manager 5はFairlightの独自のプラグインプラットフォームです。15-SHARC か6-SHARC DSP ボードのどちらかを使用します。PlugIns Manager 5はCreamwareやその他のサードパーティデベロッパーの素晴らしいクオリティのリアルタイムプラグインを使うことができます。プラグインはSoftMix画面から直接アクセスして表示され、全てのパラメータはミックスとタイトルと一緒に保存されます。PlugIns Manager 5はコンプレッサー、エキスパンダーからフランジャー、フェイザー、リングモジュール、ディレイ、ハイクオリティリバーブなど全てマスタリングクオリティの中から80のリアルタイムエフェクトプロセッサを選択して使えます。PlugIns Manager 5について

の詳細は別途資料をご覧ください。

SoftMix Auto

タイムコードベースのダイナミクスオートメーションをSoftMixコントロールに追加します。ミックスはその時のオーディオプロジェクト内にセーブされ、DREAM Station^{Plus} と Constellation システムと互換性を持ちます。

システム必要条件

PC仕様

SoftMix は Windows 2000 または XP 上で動作します。

プロセッサ -Intel または AMD 1.2GHz 以上

RAM-256 MB

使用可能なハードディスク容量 -40 MB

ネットワークカード -100BaseT

CD-ROM

スクリーン解像度 -1024x768 から 1600x1200

Plug-Ins Manager 5 のインストールのための 2 つのスペア PCI カードスロット

QDC仕様

24トラックが QDC エンジン上で動作します。48トラックを動作させるには少なくとも 2 枚の QDC カードが必要です。SoftMix は現時点では 96 kHz 仕様はサポートしていません。I/O の量は QDC カードが取り付けられている枚数によってエンジンに適應することができます。1 つの QDC カードは 16 アナログと 16 デジタル入力までを受け入れることができます。

代わりにあるいは既存の AO1 アナログアウトボードに追加して AO1M モニターボードを使うことを強くお勧めします。

QDCへの接続

SoftMix PC は 100 BaseT を通して QDC エンジンのネットワークポートに接続されます。既存の MediaLink や Satellite コントローラー接続とこの接続を組み合わせるにはスイッチが必要です。ハブは使ってはいけません。

DATA COMPATIBILITY

SoftMix は Fairlight DREAM フォーマットでデータを保存したり読み込んだりします。SoftMix データは DREAM Station^{Plus} と Constellation と双方向で互換性があり、つまり、これらの製品で作成されたプロジェクトは互いにロードしてリソースの使用が許されている限りは再作成することができます。

ハードウェアアクセサリ



簡単な使用と操作性を強化するために、SoftMix は 12 のタッチセンスムービングフェーダーとよくアクセスするファンクションについての包括的なスイッチコントロールアレイをもった Fairlight Sidecar をサポートしています。Sidecar 装備のシステムは高い精度のハードウェアメータリングを装備することもできます。